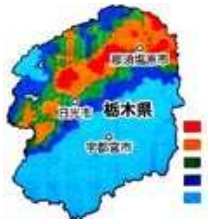
放射能から子どもを守り
１人の被ばく者も出さない

〈日光･放射能から子どもを守る会〉2012.04.13//no.25



赤10～30万,黄6～10万
緑3～6万、紺1～3万
水色～1万　ベクレル/㎡

地表面セシウム汚染地図
2011.08．02現在換算値

〈放射能の恐ろしさを考える〉　－6

毎時０.２３μSvの巧妙な仕掛け

8時間以上屋外禁止、窓の開放禁止、内部被ばく別！

（μSv/h　//　毎時マイクロシーベルト）

今回は、政府の除染基準、毎時0.23マイクロシーベルトの考え方を紹介します。

政府は、福島の高線量地域以外の汚染地域を対象に、年間1ミリシーベルトの一般公衆の被ばく限度基準〈国際放射線防護委員会（ICRP）〉に基づく除染方針です。このICRP 基準は安全基準でなく、また、「放射能は人間に危険」が国際的常識です。この基準は、何らかの事情で汚染され、当面やむを得ないものとしての基準です。内部被ばく（汚染された空気、飲食物）が含まれず、成人対象です。

政府は、狡猾なテクニックで0．23μSv/hの規準を作りました。これは、8時間以上屋外に滞在禁止、窓の開放禁止、16時間は屋内生活が前提です。さらに、屋内の線量は、屋外の放射線量の 40%で計算ですが、日本は木造住宅が多く疑問です。さらに、自然界などの線量0.04μSv/hを＋です。(年間1mSv＝年間1000μSv)

❖1000μSv/y÷365日÷（屋外8時間＋室内16時間×0.4）＋0.04μSv/h＝0.23μSv/h

自治体によっては、政府の0.23μSv/hから0.4μSv/hを加えず0.19μSv/hです。

また、政府は、別に内部被ばくの基準をつくり、人間一生 100 年で 100mSv 以下で健康に問題ないと、年間1mSvとの誤魔化しの基準です。

本来、当面の放射能汚染の状況から、やむなく年間1mSvとしても、毎時の線量は、次のように考えます。❖年間1000μSv÷365日÷24時間＝０．１１４μSv/hです。

しかし、この数値も、成人対象で、内部被ばくを含みません。成人でも0.114μSv/hは、長期的には健康に問題です。さらに、妊婦、乳幼児は、成人の 10 倍、小さな子や女性は3～5倍敏感です、長期的には健康への危険は大幅に上がります。

低線量被ばく、内部被ばくが健康に及ぼす影響は、チェルノブイリなどで益々はっきりしてきています。それとも、日光市の言うように『健康に問題ない』を信じますか。

チェルノブイリ･ゾーンは、年 0.5 mSv 以上が厳重な放射能汚染対策地域です。欧州放射線リスク委員会は、外部･内部被ばくを含め年0.1mSvが被ばく限度基準です。

風が吹くときは
マスクをしよう!!
布団干し、洗濯物は室内で

日光市の該当するゾーンは？

❑チェルノブイリ･ゾーン　❑〈1999.ナスビット論文より〉

①　移住義務ゾーン	5mSv/年以上
②　移住権利ゾーン	1 mSv/年以上
③　放射能管理強化ゾーン	0.5 mSv/年以上

②移住を希望すれば資金など支援。
③厳重な放射能汚染対策を実施する地域。

❖年1mSv/時 0.114μSv/公衆被ばく限度基準/ICRP
*内部被ばく含まず、成人対象/妊婦、乳児など敏感無視

❑ 政府の放射能除染基準//毎時0.23μSv ❑
〈日常生活で8時間以上屋外活動禁止が前提、* など〉
❑栃木県原発崩壊前//0.038～0.044μSv/h❑

日光市放射能汚染分布

2011.10.03-12 調査/日光市
測定地上 50cm
マイクロシーベルト/以上～未満

0.1 未満	1ヶ所	0.2%
0.1～0.2	155ヶ所	28.8%
0.2～0.3	187ヶ所	34.8%
0.3～0.4	152ヶ所	28.3%
0.4～0.5	30ヶ所	5.6%
0.5～0.6	10ヶ所	1.9%
0.6～0.7	2ヶ所	0.4%
0.7～0.8	1ヶ所	0.2%

〈News〉日光市は「水」も「空気」も「食べ物」も安全でした〈日光観光安全宣言〉

❑「NPO 法人国際自然大学校日光霧降校は3月25日から7日間、福島県と市内の子どもたちが体験活動。震災支援事業の一環。高放射線で外遊びができずストレスを抱える小学生向けに企画」〈2012.04.01/下野〉　霧降校に tel すると「高いところで放射線量は0.28μSv/h」とのこと。なぜ、日光市の放射線量高い霧降で？

❑2014年日光冬季国体の動き-安全アピールで経済（カネ）優先策!〈2012.04.03 下野〉

❑「日光ブランド情報発信センター」（農産物直売所）の愛称募集！とは？〈2012.04.05 下野〉その場所にある『日光農産物放射線量測定所』、秘密なのか看板なし、宣伝なし！

❑福島沖プランクトン･100倍のセシウム検出！食物連鎖で魚類に蓄積の可能性！！
〈2012.04.03 毎日〉

〈放射能の危険!〉見たり聞いたり話したり

❑2億2000万円は放射能測定器を！

安全PRに 2 億 2000 万円！これでは、原発事故前の東電が安全対策でお金を使わず、ただただ安全PRに多額のお金を使ったのと同じ！この資金で放射能測定器を購入し、学校単位に設置して家庭菜園の野菜をいつでも無料で測定できれば安心と思う。　〈Kさん〉

❑乳幼児の娘と実家に一時避難！

こちらでは放射能のストレスが無く、精神的に楽になりました。まるで別世界に居る様です‥　〈旧今市-M〉

❑観光のため、子どもの笑顔使うとは！

チラシと情報をお送り頂き、ありがとうございます。観光収入を回復するために、子どもたちの笑顔を使うなんて、情けない大人たちです。どんな圧力があるのでしょうか？私は、子どもに顔向けできる大人でありたい。　〈厚木市議/名切文梨〉

❑「日光は高い、測定器買うかな！」

屋外での仕事なので、何時も気になっていた。日光市内の仕事が多いので、日光は高いことは知っているので心配。安い測定器を買うかな？　〈工事のAさん〉

❖チラシ･バックナンバー見られます//PDF　http://atsugichild.web.fc2.com/
〈日光･放射能から子どもを守る会〉tel･0288･26･0130//nairamdal-1871@dream.jp

放射能汚染の中で暮らす子どもたちを憂う －1

日光の子どもたちは無防備です
日本は１００ベクレル　ドイツは８ベクレル以下

ドイツから「ふるさと日光へ」/Baum

私は震災後、放射能のことが気がかりで、インターネットを見ては、『ふるさと日光』のことを心配していました。

インターネットからは、日光市の放射線量の高さを心配しながら、広瀬隆さんや小出裕章さんの講演会を何度も Youtube で聞きました。また、チェルノブイリでの影響も調べてきました。低線量被曝がどれだけ恐ろしいのか、日本人はあまりにも無知すぎると思います。「絆」「風評被害」という言葉に踊らされ、被曝しなくてもいい人たちが被曝させられている気がします。

⊛　⊛　⊛

さて、私の「ふるさと日光」は、放射能汚染された中で、あまりにも無防備すぎると思わざるを得ません。確かに、観光地としての損害は計り知れないと思いますが、未来を担う子どもたちのために、観光客へのキャンペーンよりも、やらなければならないことはあるはずです。小中学校、さらに幼稚園、保育園で、ものすごく線量の高い場所がありますが、そういうところで毎日子供達が通っているのかと思うと、胸が痛みます。「除染」は「移染」と言われています。そこだけ除染しても放射能物質が別のところに移動するだけで、結局のところは物質の量は変わらないのです。そして、一度除染したところが、時間が経ってまた線量が高くなるということもあります。

そして、内部被曝の問題ですが、4月から国の暫定基準が500ベクレルから100ベクレルに大幅に下がります。ですが、「基準以下だから安心」と一概に言えるとは限りません。ちなみにドイツでは8ベクレルです。日本の異常な高さがはっきりします。でも確かにそうしないと日本の第一次産業はつぶれます。関東の野菜、太平洋沖の魚介類は、残念ながら多少なりとも汚染されています。EUでは今なお、東北関東の食料品は輸入禁止です。

幼児や子供、妊婦は、多大な影響を受けますから、正しい知識を知り、その上で何を選ぶのか、全てが消費者個人の判断に委ねられています。

☢ 日光市は放射能汚染地帯！☢ 〈雨どい地上 1cm〉-1 ❑土沢❑ (3月13日)

＊Aさん宅　毎時 2．900マイクロシーベルト　雨どい上 1m　0．204μSv/h
＊Bさん宅　1．427μSv/h　＊Cさん宅　1．350μSv/h

脱原発１０００万人署名に協力ください!!

「原発」再稼働を許さないために！5月末まで延長！(3月27日現在550万人以上)

放射能から子どもを守る

５年後、子どもと笑って過ごしていたいです♪
１３

『赤ちゃんがいる部屋の中の線量が、0．4μSV/時だ。』

○×市在住/仮名 ナナオ

わたし、栃木県の「放射線による健康影響に関する有識者会議」広聴会で、那須のパパさんが話していた『赤ちゃんがいる部屋の中の線量が、0．4μSV/時だ。』という事実が胸に突き刺さっています。

今もその赤ちゃんのことを思うと、夜も眠れないくらい辛くなります。

こうしている間にも赤ちゃんは被曝しているんですよ！

その方が県南に保養に行きたいとおっしゃっていました。県や市がなんにもしない今、なんとかならないんですかね？？？

国は、福島だけだし。

＊　＊　＊

有識者なんてあんなものだし。胸が痛む有識者はいないのですかね？？？

内部被曝の専門家でも一人、有識者にいれば。。。

誰か、いい案ありませんか？？？

もう、赤ちゃんのこと思うと辛いです。

誰も100ミリ以下はわからないから助けるんじゃないの？？？そういうスタンスで物事を考えられないのかしら？？？

誰か、意見してください！！！！

広聴会で、関谷地区に住むパパさんの生の声を目の前で聞いて、胸が痛まない有識者なんていらない！！人間じゃあないでしょ？？？？？　〈次号に、つづく〉

☢ 放射能は危険 ☢　放射能汚染地帯で生活続けるチエ

❑全食品、食材の検査が大事です。行政の責任でやるべきです。
基準値以下でも、特に、子ども、女性、若者には食べさせない。汚染ゼロを!
食べるものは、汚染されていない県、地域のものに心がけましょう。
同産地、同じ食品は食べ続けない。全ての放射線量測定をして安全が確認できない中では、汚染されるものを食べ続けないためのチエ。

❑放射能の危険から子どもを守る//高い線量の場所には近づかない。マスクをする。
「保養」「一時避難」「疎開」「移住」など考える。相談体制を検討。行政の支援要求。

❑うららかな春。花壇、家庭菜園、楽しみですが土は汚染されており、避けたいです。
もし、やるとすれば、手袋、マスクをしてください。終わった後は、よく手を洗い、うがいをしましょう。服や靴の土･ほこりなどを取ってください。